京城藥報

定價一部金五錢(郵稅共)廣告料 半頁 八圓 一頁 拾五圓
發行所 京城本町丁目 京城藥報社

藥品試驗所

韓國現今の藥業界は如何に進歩發達し居れるや恰も我維新の際の藥業界よりも尚未發達なるは識者を俟たずして明なり然り而して韓國の藥業界は韓人にのみ放任せば發達進歩せざるは勿論なるも我藥學者藥業者の大に斯界の爲め盡碎せられつゝあれば其進歩も自ら速なるべし玆に吾人は今我國の藥學藥業の發達歷史を韓國の斯界に於て再び繰り返すの適切なるを認識す即ち明治六年三月文部省中に醫務局を設置し醫制の取調を命せられたる是れ實に本邦に於ける衛生事務着手の創設なり同年十二月醫制脱稿し大政官に提出せり該醫制中に衛生事務の施政地方衛生局及吏員等に關する事を規定し藥舖(現今の藥劑師)開業免許試驗及毒劇藥取扱規則の事に係ることを規定す然し此案は元來舶來案なるが故に當時の民情に適し難き個條ありしを以て漸次社會開明の程度に從つて施行すべしとの旨を附記せりと云ふ翌明治七年三月東京司藥場を設立し獨逸人ドクトル、ゲ、マルチン氏を聘し藥品の試驗を監督せしむ蓋し當時洋藥の需用頓に增加し從て贋造藥の輸入夥多なると本邦藥種商未だ鑑別するの智識に乏しきを以て各開港地に司藥場を設け專ら藥品の檢査を掌らしめ兼て衛生上諸般の試驗をなさしむがためなり同八年一月京都司藥場を設立し長崎醫學校の雇敎師和蘭人ドクトル、アイ、ゼ、ゲールッ氏を轉じて同場試驗監督の任に當らしめ同年三月大阪司藥場の設立あり和蘭人ベ、ウ、ドワルス氏を監督に任ず同年六月衛生事務を文部省より內務省に移屬せしめて其事務を處理せしむ後衛生局と改稱す同九年三月東京司藥場試驗監督獨逸人ドクトル、ゲ、マルチン氏の任期滿たるを以て解任す同年八月京都司藥場を廢し更に横濱長崎の兩港にこれを開設す京都司藥場試驗監督ドクトル、アイ、ゼ、ダールッ氏は横濱司藥場に轉任し和蘭人ドクトル、オ、チ、フ、エークマン氏長崎司藥場試驗監督の事に任せり同十年二月和蘭人ドクトル、ベ、セ、ブルッヘ氏を東京司藥場試驗監督たらしむ同十四年七月長崎司藥場を廢止し同十六年五月司藥場を衛生試驗所と改稱す已上衛生試驗所の沿革にして現時韓國の斯界も亦斯の如き發達史によらざるべからず故に今衛生試驗所の設立を當局者に望むや切にして韓人にて我國に藥學研究の爲め留學し學成りて今樞要の地位にある某氏の如きは常に吾人に語りて衛生試驗所の設立を必要と認むる等を以てせらる然れども今俄に設立を見るを得るや否やは未だ確信するを得ず今日韓國に藥品試驗をなすの技術者なきにしもあらず五十有餘の藥劑師あるあり以て之れを委するを得ん然れども此等の藥劑師諸士は各々專問の職務あるを以て藥品試驗にのみ從事する能はず故に專問に藥品試驗に從事するには勢ひ藥品試驗所を設立せざるべからず殊に母國に於ては藥局方改正して前藥局方品は之れを處理するに困しむの餘り之れを滿韓の地に輸出するは理の當に然らしむる所是れ吾人が一日も早やく藥品檢驗所設立を絶叫する所以なり然れども藥品試驗所を設立するには相當の技術者と相當の設備を要し從て經費を要するや論なし故に私設とせんか之れを維持するに吾人は傍ら原料の易得く廉價なる材料を利用し簡易なる製藥例へば韓國にて酒精は非常に廉なる故丁幾劑を又砂糖も比較的安價なれば舍利別を製造し此等より得る所の利益を以て試驗所の經費を補塡せば以て維持し難きもなけん是れ吾人が藥品試驗所の設立を目下の急務として論ずる所以なり

論說

日韓藥品貿易論

在京城 筑水生

●●●●●●●(一)韓國に於ける衛生の狀態

韓國の未開なる衛生の何たるを知らざる者多し垢衣亂頭汚面其家屋は陋卑濕にして大氣の流通不良なる厠圊の設備なきは滿洲淸韓共に等しく爲めに夏季は異臭鼻を衝き冬季糞尿は氷結(黃色)せるの奇觀を呈するを見る然るに近頃京城にては警視廳よりして衛生に注意せるの結果にや其中央部たる鍾路附近に十數個の公設厠圊を見るに至れりこれ其模範的設備にして將來公衆衛生普及を示すものならんか

疾病中主なるものは呼吸器病消化機病にして胃弱胃痛最も多く是れ暴飲暴食の結果なり次は花柳病にして韓國內殆んど一の固有病たるの觀ありて亡國の疾病たるやの感を惹起さしむ蓋しこれ淫風の盛にして嘗て檢黴法なく傳染特に甚しきに困るものならん然るに近頃京城にては內部直轄の廣濟院にて時々檢黴を施行せられつゝありと云へば必ずや將來各地にも施行せられ病毒を防禦することを得るならん尙次は間歇熱とす是れ泥沼瀦水の多きと汚物の堆積せるとに基因するは化學の智識あるものゝ知る所なり又朝鮮熱と稱する一種の熱病あり其性腸窒扶斯に類し發作經過一定の範型ありて素ず腸窒扶斯狀を呈す故に人誤て腸窒扶斯と診斷することありしと云ふ眼疾は溫突不潔且居處の狹隘光線射入の不良等を以て主因とし呼吸器病特に咽喉氣管支加答兒の多きは畢竟氣候の不順と空氣不潔なるとに因る傳染病に至りては腸窒扶斯の赤痢天然痘等殆んど絶へず特に天然痘は種痘術普及せざる爲め其慘毒を侵されたるもの多し然るに近年日本人多數移住せる民間にては每年それ〴〵種痘を奬勵せり本年の如きは非常に各地流行せし爲め韓國政府にては各道に種痘事務官を派遣し內部警察局は各警察に令して一般に强制種痘をなさしめ痘苗は大韓醫院にて製造したるものを無代に頒布したりと云ふ其需用の狀態は左表の如し

但し一具は五人分なり

平壤警察署	二、〇〇〇
元山同	四〇〇
錦山同	三〇〇
水原同	一、〇〇〇
春川同	一〇〇
開城同	四〇〇
釜山同	二五〇
仁川同	一〇〇
德川同	三〇〇
金城同	二〇〇
鏡城同	五〇〇
淸州同	一〇〇
晉山同	一、三九四
北靑同	五〇〇
鎭南浦同	五〇〇
南原同	五〇〇
咸興同	一、〇〇〇
大邱同	三〇〇
龍岩浦同	四〇
驪州同	八〇〇
成川同	四二〇
城津同	一二〇
寧邊同	三〇〇
晉州同	三〇〇
忠州同	二〇
海州同	五〇
馬山同	一四〇
光州同	三〇〇
會寧同	二〇〇
群山同	一、〇〇〇
全州同	二、〇〇〇
楚山同	三〇〇
洪州同	六〇
計	一五、四五四具

而して公州木浦新義州の三署は未請求なりと云ふ京城は警視廳にて尙種痘施行中と云へば右表とを合せば無慮十万人以上を種痘せしなるべし斯の如くは其功果期して待つべきなり

韓國衛生瑣言

韓國衛生施設に就ては目下當局者に於て苦心計畫しつゝあるは余輩の大に翼贊する所たり近くは京仁間に於ける水道事業も早晩完成すべく殊に漢城衛生會の事業も實施の上は京城市民の幸福多大ならんか然れども該衛生會の事業範圍は單に糞尿塵埃取除業なりと聞く果して然らば衛生上本來の目的を達し得べき乎

余輩は進んで藥品營業者並に飲食物營業者取締の嚴なると共に衛生試驗所の設立を望むこと切なりとす

余は一昨年來韓國に於て衛生試驗に從事しつゝあり今衛生志想の普及策として其成蹟を本紙に揭げ讀者諸君に示さんとす多少參考に資することを得ば余の素志を達するに遠からんか

氷塊場貯藏檢查書

藥劑師 渡邊悅之輔述

氷塊貯藏者 羽多野松太郎

路梁津貯氷場 壹個所 明治四十年十一月新設

本貯氷場は路梁津驛より北方約二丁を距る岡上に設置せり其構造は地下約十六尺以上堀下地底は凹形となし之に小石を敷き詰め場の內外に土管を埋め排水の裝置をなせり而して地上の周圍は大小の丸太を以て屋形を造り屋上周圍共に茅葺となし且つ東方に戶扉を附し出入口となす

採氷場所の龍山鐵橋より左岸約三丁上流黑石洞下流より採取せり貯氷の品質は厚さ一尺二寸以上を有し結晶堅硬にして無色透明肉眼上塵埃を認めず

黑石洞貯氷場 二箇所 明治三十八年十月設置 明治四十年十二月新設

本貯氷場は龍山鐵橋より左岸上流約十丁を距る黑石洞の山腹に設置せり其構造は前記路梁津貯氷場と殆と同一なるも出入口は一は南方に他は北方に附せるのみ

採氷場所は此附近の河岸より採取せり貯氷の品質も前記路梁津氷場と殆ど同一にして寧ろ優等のものと認む

●●●●●貯藏法の適否

以上の貯藏法は從來韓人の方法に改良を加へたるものにして往時我北海道に於ける方法と殆ど同一なりとす

屋上周圍共に茅葺となしたる簡易なる方法にして本材料は永く氣中に於て雨水に暴露するを腐蝕すること尠く殊に氣孔疎なるを以て地中より發生する汚氣は隨時に外氣と交換するのみならず又外温の侵入をも防ぐ効力を有せり加之上記の貯氷場は內外共に土質潔淨にして高處に位置せるに據り周圍より汚水の侵入することなく衛生上適當の貯藏法と認む

明治四十一年二月二十三日

京城民團立漢城病院藥劑部長
檢查主任豫備陸軍一等藥劑官
從六位勳五等 渡邊悅之輔㊞

氷質檢查成績書

依賴人 羽多野松太郎

一、氷塊二種

試驗用として差出せし本品を驗するに厚さ一尺二寸以上を有し結晶堅硬にして無色透明且つ肉眼上塵埃を認めず就て之を溶解し理化學的檢查を遂ぐるに左の成蹟を得たり

採氷場所	溷濁及色	臭味	蒸發殘渣	酸素消費量	格魯兒	亞硝酸	安母尼亞	硝酸	硫酸	浮遊物
龍山鐵橋ヨリ左岸上流約三丁餘黑石洞下流	無色透明	無良	三五、〇	〇、六二	二、〇〇	無	無	痕跡	微量	痕跡
龍山鐵橋ヨリ左岸上流約十丁許黑石洞附近	無色透明	無良	三三、〇	〇、六一	一、九六	無	無	痕跡	微量	痕跡

備考 本表中の數量は一里爾兒中に含有せる密里瓦數なりとす

以上の成蹟に據れば本品は二種共に善良なるを以て飲料に適するものと認む

明治四十一年二月二十五日

京城民團立漢城病院藥劑部長
檢查主任豫備陸軍一等藥劑官
從六位勳五等 渡邊悅之助印

韓國藥劑師會々則

第一條 本會ハ韓國ニ在ル藥劑師ヲ以テ組織シ其品位ヲ保チ斯學ノ素養ヲ崇高ナラシメ業權ノ發達ヲ目的トシ諸般衛生的諮問ニ對シ研鑽討議大ニ貢獻スルコトアラムコトヲ期成ス

第二條 本會ハ韓國藥劑師會ト稱ス

第三條 本會ハ本部ヲ京城ニ置キ其管轄區域ハ京城、龍山トス

第四條 第三條ノ管轄以外ノ土地ニシテ一地方十名以上藥劑師居住ノ地ヲシテ支部ヲ設置セシム又其ノ定數ニ充タサル土地ニアリテハ其ノ地居住ノ本會正會員ヲシテ便宜本會ノ地方委員ヲ囑托ス

第五條 本會々員ヲ分テ名譽會員正會員贊助會員ノ三トナス

第一項 名譽會員トハ特ニ本會ノ主旨ヲ贊成シ補翼セラルヽ人ヲ推擧ス

第二項 正會員トハ藥劑師及其資格ヲ有スルモノヲ以テス

第三項 贊助會員トハ韓國人ノ藥學者及日韓人ノ藥業者若ハ其經驗ヲ有スル人ニシテ本會ノ主旨ヲ贊襄セラルヽ人ヲ以テス

第六條 第五條第二項ノ有資格者ニシテ本會ニ入會セントスルトキハ正會員ノ紹介ヲ以テ其ノ入會ヲ事務理事ニ申込マルベシ又退會申出ノ際ハ其ノ事由ヲ具シ同シク理事ニ申込マルヘシ

但シ本條ハ第五條第三項ノ贊助會員入會ノ場合ニモ適用ス

第七條 本會ハ本部役員トシテ會頭一名副會頭一名理事七名其ノ他支部長地方委員若干名ヲ置ク

第一項 本部役員ノ任期ハ滿一ケ年トシ毎總會之ヲ改選ス

但シ滿期再任スルコトヲ得

第二項 會頭副會頭ハ會員中學識地位名望アル人ヲ推戴シ且ツ會頭ハ本會ノ主班トシテ本會ヲ總轄シ會議ニ於ケル議長ノ職ニアルモノトス副會頭ハ會頭ヲ補佐シ臨機會頭ノ職務ヲ代理ス

第三項 理事ハ會員ヲ代表シ會頭副會頭ヲ補佐シ本會ノ機務ニ參與ス

第四項 理事中會頭ノ指名ヲ以テ事務理事二名ヲ設ケ本會ノ庶務會計ヲ分擔セシム

第五項 支部長ハ會頭ノ推選ニ依リ本會ノ主旨ヲ体シ部務ノ衝ニ當リ連絡ヲ保維スル者トス

第六項 地方委員ハ會頭ノ推選ニ依リ本會ノ主旨ヲ体シ地方狀況ヲ調査通信スル者トス

第八條 本會々合ヲ分テ總會定會臨時總會理事會ノ四トナス

第一項 總會ハ毎年一回一月ニ於テ開會シ前年度ノ會務報告役員ノ改選ヲ行フ

第二項 定會ハ毎月一回（第二日曜日ノ豫定）開會ス

第三項 臨時總會理事會ハ會頭ニ於テ其ノ必要ヲ認メタルトキ臨機之レヲ開會ス

第九條 會議ヲ別テ本會議理事會議ノ二トス

第一項 本會議トハ總會臨時總會ノ場合ヲ云ヒ其ノ決議ハ本部在正會員過半數ノ出席ヲ得テ成立ス

但シ特ニ事情ヲ具シ欠席通知アル者ハ出席者ト認メ開議スルコトヲ得此ノ場合ハ欠席者一人ニ付可否各一點ヲ認ム

第二項 理事會議ハ會頭若クハ副會頭幷事務理事一名理事三名ノ出席ヲ得テ成立ス此ノ場合ニ於テハ前項但書ヲ適用セス

第三項 本會議又ハ理事會議ニ於ケル裁決ノ方法ハ議長ニ一任ス

第四項 會議ハ正會員ニ非ザレハ參與採決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第十條 正會員ニシテ新ニ建議セヲル事項アル時ハ其ノ旨ヲ會頭ニ致シ會頭ハ理事會ヲ開キ其ノ所決ニ依リ裁決ス

但シ此場合會頭ハ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

第十一條 會員ハ本會ノ決議會頭ノ裁決ニ對シテ服膺ノ義務アルモノトス

第十二條 正會員ハ本會ノ經費ヲ負擔スルノ義務ヲ有シ會費トシテ一ケ年金三圓ヲ納ムベシ

第十三條 本會ハ有志者ヨリ金品ノ寄贈ヲ受ケルコトアルトキハ是ヲ受領シ其品目ヲ登錄シ永ク保存スルモノトス

第十四條 本會ハ本會經營ノ資トシテ若干ノ基本金ヲ常備ス

但シ其臨出保管支出ノ方法ニ就テハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十五條 本會ハ機關トシテ會報ヲ發行スルカ若クハ適當ノ發刊物ヲ契約シ其ノ一部ヲシテ本會ノ機關タラシム

但シ其ノ撰擇ハ會頭ニ一任ス

第十六條 本會々則ハ總會ニ非サレハ補修スルコトヲ得ス

第十七條 會務手續ニ關スル事項ハ事務理事ニ於ケ細則ヲ規定シ會頭ノ決裁ヲ經テ會員ニ通告スヘシ

第十八條 本會ニ關スル事務ハ當分ノ內統監府官舍第二十九號田中實方ニ於ヲ處理ス

○韓國藥劑師會●●●●● 三月十五日京城小學校に於て例會を開く來會者十二名兒島會頭の開會の辭中大韓醫院教育部に藥學科を設置するに至りし顛末の報告あり次に前會決議の基本金問題につき討議す後韓國藥學者東京醫科大學藥學選科卒業劉世煥氏の本會に對する抱負に就きて演說終りて本日の講演飲食物の貯藏法に就ての歌原氏の研究談次に本日の討論題たる韓國に於ける牛乳の檢査の判決標準に付原案者渡邊氏の詳細なる說明ありて會員各自の經驗談あり原案者は單に牛乳其のものゝ品質の檢定に止らず進んで牛舍の檢査に重きを置かれたしと主張し結局兒島會頭より渡邊、吾味、板垣、古賀の四氏に牛乳試驗調査を委托し散會す時に午後五時



他山の石

風來子

客あり年は五十の坂を二たつ三つ大阪船場の片傍に壯大なる店舖を構ね軒の暖簾は祖父が代よりの讓り物紺地に白の染め拔き屋號は永の歳月風雨に曝らされて記號の程も定かに讀み分け得ぬ迄に古びたると共に店の信用は泰山の其れの如く動きなく海の内外に廣がりて日常の取引は益々手廣になるばかり内には召使ひの十數名を使履し汗水流して家業大事と務むる傍らには某會社の重役備ては取締役ともなり其向きに時めき給ふ一紳士あり、此人は本丈には居辛らくなりたるや韓國に渡りて大事業を起さばやとて先般來視察の爲め當地三日月旅館に滯在せられける過ぐる日風來子は直に訪問氏が當國に於ける同業視察談を得たれば時節柄他山の石たる價値なしとせざれば今其一二の節々を左に物する事とはなしぬ

御承知の通り私しの生れは大阪の船場世にも名高き頑固者の寄合ひで出來たる一區劃其處で私しが二十年の昔し三十何歳かの時でした亞米利加の學校に修業の爲め出遊する事となりました其時には近邊の人々は私しの面前にては種々賞賛して呉れましたが陰では彼の歳になり學問した處で何の功果があるものか夫れよりは父祖代々の財産を失はぬが肝要であるとか各子を持てる親々は其子供に私しの事を半ばは笑び半ばは誹る方々も有りましたが其後數年私しが無事歸りて來ました其時には初め私しを笑ふた人々の中には親讓りの財産さへも人手に渡して居る者もありました其時私しの財産と云へばお恥かしき事ではありますが僅かに二千圓足らずでありました然かし其後は一身を犧牲とし骨水惜まず働きました結果は御承知の如く當今の産を造る樣になりました來年には百五十万位は集め度き物です其時には祝ひをしましてお招き致します呵々

然かし之丈の富を得ました原因はと云ひますと周圍の方々より幾分か私しのやり方の方が巧であつたからでしよう經濟上では資本の豐富な者が之と同業又は其以下の者を壓下する事が出來ます如く商業上では手段と方法の巧なる者は多くの場合勝者であります則成功者となる者であります私しの商業上に於ける主義は之の通りで此度韓國に渡つた原因も之れであります

相對あなた方同業の競爭者として居らるゝ方は何人ですか清人や洋人でしよう顧客は勿論韓人でしよう左れば清人や洋人に劣らぬ樣に商賣されますれば夫れで日本藥商萬歳と謂ふ物です然かし今の如く同業が毎月少許の利益に滿足して居らるゝ間に彼等外人は面白き儲をして居るを氣付かれないのですか私は今一歩同業諸氏の御奮發を願ひ度いのです

元來韓國其内京龍の地にある同業は約六七十名と見れば大差はないでしよ其方々が韓人に賣込む藥品價は何程ですか恐らくは甚僅かの額でしよ私しの商品も藥品ですが之れが販賣は一戸も日本藥商には委託しては居ませんが一ケ年には當地方丈で三萬五千圓位は有ります今若し之を日本藥商に委託するとしますれば約半額位否其以下迄も減少するでしよ故に店の維持上勢ひ日本商人を捨てゝも清人や洋人に委ねる樣になります何んと慨嘆すべき事では有りませんか然かし原因はと申せば日本藥商の商業振りの拙劣なるに因るかと思ひます總べて商業上では先づ廣告と謂ふ事が一番必要です廣告に付きては商人たる者は必勢の程を見せなければなりません廣告の巧拙は商賣上甚大なる關係を有する物でありますす自慢では有りませんが私しが亞米利加の學校で修業した物は云へば單に製藥化學の少許丈で所謂之れは死學問で生きた學問はと申しますと廣告學位のものでしよ而かし目下の私しの富は一とつは天助もありましよが大部は廣告の爲めかと思ひます

借て今私しは渡韓日本藥商の有樣を見まするに其大部は商業と謂ふ事には甚無頓着である樣に見へます何故ならば大抵の方々は廣告と謂ふ事に就きては全くの考へのない樣に見へます自家の藥品を賣擴めん爲日本人發刊の日本字新聞に廣告し一地方に買客を見出すべき性質の物を比較的全國に配布せらるゝ出版物に廣告する等は果して何程の功果がありましよか之丈にては已に廣告の代價は全く欠損です或は少數日本人居留者の内に買客を見出すには至るかも知れませんが夫れは甚僅少の物でしよ故に品物は賣れず資金は固定し融通は開かない事になります

一般商業は手廣くせねばなりません韓國では日本人よりも韓國人の方が勿論多數であります左れば本位は韓人であります韓人に賣付けるには亦韓人向きの方法を採らねばなりません此處が則廣告の六ケ敷點であります然かし商賣は韓人相手としますれば一人に對する利益は勿論少ないですが數が多くなりますから差引き大利益と云ふ事になります一時に暴利を攫んとするは昔時のやり方で今日では順々と永々續々方法の内に利益を獲得せねばなりません其處で今申す相手は日本人の如く過敏ではない代りに最初の賣込みには甚骨が折れましよ然かし一度信用を得たる上は容易に不正なる事又大したる失敗のない限りは初めの利益は持續し甚面白い事でありませす例へば清人や洋人のやり方を見ても明かではありませんか故に私しは同業の交誼上在留諸氏に第一着として廣告に意匠を凝らして貰ひたいです一概に廣告と云へども大したる費用の掛かる物では有りませんやり樣では壹圓の廣告料は却つて百千圓の料金を掛けたるものよりも非常なる効果を奏する事があります今手近き一例を舉げて私しが清國殊に南清地方でやりましたる方法をお話し致して御參考とする事にしましよ（未完）

韓國藥界の人（中）

蘆の家主人

○新井虎太郎君　京仁否寧ろ韓國全土にて賣藥御賣のオーソリッチと云へば先づ指を新井藥房に屈せざるべからず藥業の本場たる大阪に錬ひたる手腕と信用を以て渡韓本陣を仁川に支店を京城に開き各地よりの注文を開き獨り悅に入る者之れを新井藥房主虎太郎君とす君や商機に敏なると大なる度量及有力なる後援の三能を具備するが故同業者より重視せらる宜なり斯界に異彩を放つも亦故なしとせず今後の斯界は益多望されば君によりて存すべき事業多々あらん自愛せよ斯業界の大立者虎太郎の君

○山岸祐太郎君　藥種問屋天祐堂は世既に定評あり君は東都の本町にて十數年間問屋に從事し機を見て決する所あり渡韓京城に陣し鷄林八道の藥品需要に應ずるの計畫を以て着々實行しつゝあり君は動かすべからざる勢力と熱心を持し決行するは確かに斯界の剌腕家たるの價値あり君よ前途有望の藥界の爲め幸に盡せ

○近藤正藏君　京城藥店中の老舖を以て自ら任し人も許す程なるも現時の貴生堂藥房は頗ぶる昔なきを感ず何か策略あるか將又退歩せるにはあらざる乎我これを識らずと雖も或一派の牛耳を取らるゝ君丈けに何にか成すあらん願くば斯界の勇將益々奮勵あれ

本誌京城藥報に對する批評

○初めて呱々の聲を擧げし雜誌なり体裁記事初刊としては整ひ居れり記者は藥界の爲め健全なる發達を遂げられん事を望む（京城新報社）

○曩て計畫ある由報道し置きたる同報は去十一日第一號を發刊せり專門家の筆に成れるもの而已を輯めたるが故に該方面の人々には頗る有益なるべし（京城大韓日報社）

○韓國藥界を啓發せんが爲め新に發行せられたるもの僅々八頁なりと雖も内容大に見るべく殊に用紙の良好印刷の鮮明等内地同業紙をして後へに瞠若たらしむるもの敬服々々（藥石新報社）

○京城藥報韓國の首都京城に在住の本邦知名の藥學藥業家相謀りて韓國藥界のため大ひに盡瘁せんとて機關として本紙を發刊せられたり其前途や多望多事なり願くば健全なる發達を遂げんことを（鮮藥新聞社）

○韓國に於ける藥業の發展を目的とし京城藥報は其第一號を陽春三月三日發行せり吾人は韓土唯一の斯業新聞として切に其發達を祈る（道修藥報社）

○二大圖書館長より本社へ左記の狀着す

一京城藥報　第一號

右御寄贈相成正ニ領收深ク御厚意ヲ謝ス尚爾後引續毎號御寄贈相成度致希望候也

明治四十一年三月十六日

帝國圖書館長　田中稻城㊞

一京城藥報　第一號

拜啓今般前記ノ雜誌本館ヘ御寄贈相成正ニ領收御厚意深謝ノ至リニ候敬具

明治四十一年三月十六日

大阪府立圖書館長　今井貫一郎㊞

○渡邊藥劑師　豫備陸軍一等藥劑官渡邊悅之輔氏は殺菌水を以て衛生上良好の夏季好飲料ラムネ蜜柑水等を製造販賣せんと計畫中氏の如き十數年陸軍衛生部にありて經驗に富める衛生家の製品は社會より歡迎さるゝや必せり

○日本藥學會總會　東京醫科大學藥學教室に於て通常總會を開き左の講演ある由

第一日　四月十一日午後一時より四時迄

蛋白質の生物學異同鑑別に就て　石川靜遠
附血清血應のデモンストラチオン
錠劑　吉田宗二郎
炭酸水の簡易製法に就て　藥學士酒井甲太郎
歐米視察に就て　藥學博士池口慶三
河豚の毒素に就て　藥學博士田原良純

第二日　四月十二日前九時より十二時迄

秤量し得べからざる量の限度に就て　秋山卓爾
歐米製藥業の近況　黑田重中
麴の酵素に就て　藥學士西崎弘太郎
米の酵母に對する藥化用に就て　藥學博士上野金太郎
歐米視察の大要　藥學博士理學博士長井長義

小說

破れ舟

天紅

（上畧）當時の神童と謳はれ同窓の敬畏措かざりし麒麟兒今如何にして在しますか其後御病氣缺なりや否や公務に忙殺されし身の筆執る暇もなく心ならずも不音に過ごし申候去月急劇に命に接し目下當地の外交圏に發勇を振ひ居候（下畧）

○國大使館にて 櫻木少佐

明治 年 月 日

花岡天紅兄

繰り返し卷き返し讀み終りて

「嗚呼……」

と、しみ／＼と、自身の不運なのを恨むか如く訴ふるが如く、溜息を洩らした、異様に光を帯びた眼は、柱に懸けられた、時計の刻一秒と人の命を、閻魔の臘に送るべく靑鬼赤鬼の手に剰まるゝかのやう怪まるゝセコンドの、轉廻を見極めたまゝ、無念の紅涙幾千……行、波立つ血潮は、寄せつ返しつ心臓を打ちて、さながら海神の、荒るゝかのやう、吾れを忘れて、手にした扇折れよと斗り机を打つた音に、粗忽な下女か何ど聞き違へたか、

「何か御用」

と、頓狂な聲に、愕然として人の本領に歸りし余は、破れよと嚙みし、口唇を僅に解いて、

「馬鹿、呼びはせぬ」

不平に滿ちた聲、ツマトーゼの廣告に背いてある、三週間服用後の角力取然たる下女は、顔ふくらして出て行つた、後見送りて過ぎし昔の、それから夫れと、獨言に、

「どうしてこんなに不運だろふ？櫻木少佐が、レターの一節にもある通り、慥に當年の麒麟兒として、人も容るし、自らも許つて居た、兩親も又なきものと珍重して下さつたし、受持の先生は云はずもがな、校内一般の、先生にも、末見込ある子として可愛がつて下さつたに違ひない、その證據には下級受持先生の欠勤には何時も代數生を命せられた、塗板に丈か及ばぬので、腰掛を六十歳近ひ老爺の小使に運こんで貰つて、やつと丈延して、自分ながら、怪しい文字を併べて、乙に小先生氣取つた事もあつたのだ、同じクラスの上席は、毎度も吾輩の獨占に極まつていた、櫻木と一所に中學に入學した時も、吾輩は三番と下らぬ好成績で、母さんに新調の木綿縞の袴を、御褒美にと、ねだりし事も覺へている、目的の彼岸に達すべき舟山として、士官候補生の試驗に及第し、追手に纜を解いたのは、明治三十一年も殘り少なき霜月であつた、爾後熟練なる隊長の手に操られて、一つの暗礁に觸るゝ事もなく、教練を連續ける事三百餘日、不幸にも吾輩の羅針盤たる腦の一角に異狀を來たした、渺渺たる大洋の眞只中沈沒？非す……

「五ヶ月餘の入渠も修繕の功がなかつたので遂に死の宣告にまさるの、命令は下つた疾病事故に依り退役を命す同時に兵籍を除く……ザ……殘念

そのまゝ卒倒したのである昨日まで一方の重鎭として尊重されし、さしもの堅艦も徒らに海草の生へるに任せねばなるまい？以來十ヶ年花幾度か春を訪ると吾身は秋のそれ、

「優勝劣敗は世の常と諦らめもしやうか、代數と英語の不審は吾輩の受持のやうにして教へてやつた、彼れ櫻木ほど世に幸福なものが又とあろふか、日露戰爭中も、美事一つの負傷もせず、定期も待たで現位置に登りたのみか、戰功に依り勳……功……それまではだが吾輩の許婚であつた彼の婦美子……櫻木少佐令夫人……大使館……外交……夜會……

折柄向ふの小川の畔を二三人連れの書生連か銅羅聲高く

「人生五十無功業……」

思はず耳を借すと、吾輩が中學時代、得意の詩吟である、左様人生五十年だ何時治るか治らぬか分明もせぬ病氣を抱いて自然と枯るを待たふより、寧枯れるなら進んで枯れやう……せぬよりました、出來ないまでも、是れ男子の本領ではあるまい？

＊　＊　＊　＊　＊　＊

關釜連絡船の一隅に壹千五百噸の朝日丸も沈めと斗りの重き金を胸にして渡韓した男があつた

セメンシーナ氏とサントニー子氏

セメンシーナ氏は天保年以前より成府（胃腑）の次なる町内（腸内）の刑事として就職し爾而日に確實に公私の別なく精勵せし人にて其當時該町内に於ける蛔蟲と云ふ惡徒にて人の生血を吸ひ貧血眩暈小兒は鼻下爛れ其他腹痛熱氣等凡ての害をなす不浪の徒を狩るに妙を得たる人なりしが悲哉日進月歩の學術界は學理研究の足らざるを氏の欠點として遂ひに免職同様の有様となり方には高様式に學理を研究せしサントニーネ氏大に用ひられ遂に此の刑事の右に出づるものなきに至りしが此の刑事近來自己の勢力を頼み自己の吐腹を肥ず爲めに惡徒と結託し種々のものが懐き込みしため或る問題に就て醫師との衝突起り醫界の信用左遷の左様さなり蛔虫不浪の徒さへ跋踏し醫界の談話は常に該刑事の身上に及ぼさゝる事なし是れと同時に永年清國韓國の片隅を潜行せしセメンシーナ氏歡迎運動熾なれば近き將來にはサントニ子氏を奸商せし人々は頭痛向鉢卷をなし臍を嚙むならんとの世評

○帝國大學藥學科選科同窓會 來る四月十一日午後四時より上野公園常盤華壇（元梅川樓）に於て總會を開かるゝ由にて大學藥學科四教授出席の筈韓國にては同會員は只獨り古賀藥劑師あるのみ

（韓國藥劑師會例會） 同會は四月十二日午後一時より京城小學校に於て開會の筈なり

ヂキタリスの培養に就て 渡邊悅之輔

韓國に於ける牛乳檢査判決標準 調査委員報告

○漢城衛生會費 漢城衛生會費用に關し三月三十日裁可公布されたり

漢城衛生會費用に關する件

第一條 漢城在住者は漢城衛生會費用を負擔の義務を負ふ

第二條 前條費用は漢城衛生會評議員の定むる所に依り漢城府尹賦課徵收す

本法は頒布の日より施行す

◎京城天佑堂藥房謹告

弊房ハ大日本東京ニ於テ洋藥貿易商トシテ數十年間専業ニ從事シ居リ去ル光武九年韓國ノ藥業界視察トシテ渡韓精査スルニ及ビテ大ニ感ズル所アリ翌十年春歸國ノ後チ東京ニ於ケル全部ヲ斷然引拂ヒ直チニ永久移住ノ目的且ツ東京藥種貿易商ノ代表者タル覺悟自負以テ京城ニ開店以來日尙ホ淺キニ拘ハラズ豫想外ノ發展ヲ爲シタルハ偏ヘニ各位ノ御庇護ノ結果ト常ニ肝銘深謝措ク能ハザル處ナリト雖モ徴々トシテ幼稚ノ境ヲ免カレザル此韓國洋藥業界ノ進歩發達ヲ益々増進スルニ勉ムル爲メニ藥品ハ最純良品ヲ撰ビ誠實薄利ヲ旨トシ洋藥ノ主ナル種類ハ獨、英、米、佛其他各國有名製藥會社ヨリ直接輸入シ又日本東京各製藥會社ト特約爲シ猶醫療器械、調劑用器械、消毒繃帶材料、藥局用硝子壜類、有名賣藥、東京化粧品類等一切具備シアリ、醫家、藥業家其他一般特ニ御便利ニ相計リ可申ニ付從來ニ倍シ増々御愛顧アランコトヲ希上候　敬白

京城泥峴本町一丁目郵便局前

天佑堂大藥房

店主　山岸祐太郎

◎天佑堂ハ洋藥各新藥化學分析用藥其他工業用藥品等各種取揃ヘアリ

◎天佑堂ハ調劑藥局ノ設ケアリテ藥劑師主管シ弘ク各大醫處方調劑ノ需ニ應ズ

◎天佑堂ハ毎月洋藥品ノ相場表ヲ發行ス御入用ノ時ハ御申込次第送附ス或ハ品目詳記照會アレバ直チニ回答爲スハ勿論ナリ

◎天佑堂ハ歐米各國ヨリ主要ナル洋藥品ヲ直接輸入スルガ故ニ日本ノ關稅ヲ省キ尙日韓稅率ノ差異及ビ在日本商人ノ手數ヲ要セズ爲メニ生スル利益ハ決シテ不少即チ廉價ナル所以ナリ而シテ其品質ノ純良ナルコトハ弊房ノ特色タリ

◎天佑堂ハ交通、運搬、爲替取組等ノ便宜上御注文品申込ヲ請クレバ代金引替小包郵便其他便法ヲ以テ迅速發送爲スガ故ニ最モ便利安全ナリ

小包郵便料

重量			
壹貫五百匁迄	金五十錢	六百匁迄	金貳拾錢
壹貫貳百匁迄	金四十錢	四百匁迄	金拾五錢
九百匁迄	金三十錢	貳百匁迄	金拾錢

代金引替手數料

代金引替登記料一口ニ付	金五錢
手數料金高五圓迄	金五錢
同金五圓以上ハ五圓ヲ増ス每ニ	金四錢

◎京城天佑堂藥房謹告

敝房은大日本東京에在ᄒᆞ야洋藥貿易商으로數十年間專業에從事ᄒᆞᆫ바去光武九年에韓國洋藥界ᄅᆞᆯ觀察코져ᄒᆞ야精査ᄒᆞᆫ後所感이頗多ᄒᆞᆷ으로翌十年春에歸國ᄒᆞᆫ後東京에在ᄒᆞᆫ全部ᄅᆞᆯ斷然引率ᄒᆞ고永久移住ᄒᆞᆯ目的과又ᄂᆞᆫ東京藥種貿易商의代表者됨을自負ᄒᆞ야京城에開店ᄒᆞᆫ지其日이尙淺ᄒᆞ나預想ᄒᆞᆫ外의發展을得ᄒᆞᆷ은專主히各位의庇護ᄒᆞ신結果로恒常感謝ᄒᆞᆷ을已치아니ᄒᆞᄂᆞᆫ바ㅣ라然이나微微幼稚ᄒᆞᆫ境域을不免ᄒᆞᆫ韓國洋藥界의進步發達을務圖ᄒᆞ야純良ᄒᆞᆫ藥品을選擇ᄒᆞ며誠實薄利ᄅᆞᆯ爲主ᄒᆞ야洋藥의重要ᄒᆞᆫ種類ᄂᆞᆫ獨、英、米、佛其他各國에有名ᄒᆞᆫ製藥會社로브터直接輸入ᄒᆞ며又日本東京各製藥會社와特約ᄒᆞᆫ바오尙且醫療器械、調劑用器械、消毒繃帶材料、藥局用硝子壜類、有名賣藥東京化粧品類等이一切具備ᄒᆞ얏스니醫家藥業家其他一般의便利ᄅᆞᆯ爲ᄒᆞ야從來보다一層勉勵코져ᄒᆞ오니愛顧ᄒᆞ심을務望

京城泥峴本町一丁目郵便局前

天佑堂大藥房

店主 山岸祐太郞

天佑堂은敝房의調製藥局을設置ᄒᆞ야醫藥師가主管ᄒᆞ며廣博히各大醫師의調劑ᄅᆞᆯ酬應ᄒᆞᆷ

天佑堂은每月에洋藥品時價表ᄅᆞᆯ發行ᄒᆞ야諸君子의所用이有ᄒᆞᆯ時ᄂᆞᆫ要求ᄒᆞᄂᆞᆫ次第ᄅᆞᆯ隨ᄒᆞ야送付ᄒᆞ며或品目을詳記ᄒᆞ야通知ᄒᆞ면即回答ᄒᆞᆷ

天佑堂은歐米各國으로브터主要ᄒᆞᆫ洋藥品을直接輸入ᄒᆞᆷ으로日本關稅ᄅᆞᆯ省畧ᄒᆞ며尙且日韓稅率의差異及在日本商人의手數ᄅᆞᆯ不要ᄒᆞᆷ으로利益이不少ᄒᆞ며因ᄒᆞ야價額이低廉ᄒᆞᄂᆞ니是以로其品質의純良ᄒᆞᆷ은敝房의特色이라

天佑堂은交通、運搬及爲替取組等의便宜와注文品의請求가有ᄒᆞ면代金은引替小包郵便과其他諸便을隨ᄒᆞ야迅速發送ᄒᆞᆷ으로가장便利安全ᄒᆞᆷ

小包郵便料

重量		重量	
壹貫五百匁ᄭᆞ지	金五拾錢	六百匁ᄭᆞ지	金貳拾錢
壹貫貳百匁ᄭᆞ지	金四拾錢	四百匁ᄭᆞ지	金拾五錢
九百匁ᄭᆞ지	金叁拾錢	貳百匁ᄭᆞ지	金拾錢

代金引替手數料

代金引替登記料一口에	金五錢
手數料金高五圓ᄭᆞ지	金五錢
同金五圓以上은五圓을增ᄒᆞᆯ제마다	金四錢

○聯珠吟

天籟 紅眠

南山の緑これよりこまつそかし
まつそかし是非待そかし君來ませ
君來ませいさ酒汲まん春の野に
春の野に胡蝶追ふ子の可愛らし
可愛らしヲー可愛らし花すみれ
花すみれ採りて妹子は土産にせむ
土産にせむ江戸絵の美人ホヽと笑み
ホヽと笑み客をそらさぬ愛嬌もの
愛嬌もの皆もなくお世辭振り蒔きぬ
振り蒔きぬ櫓兵衞か袖は萌へてけり
萌てけりゆるか如き春景色
春景色こゝに集めて倭城臺
倭城臺加藤主計の陣の跡
陣の跡こゝ南山の緑そかし

商況（京城）

三月の藥業界は未だ活潑なる取引なく只々數月間氷結せしもの愈々解氷期となりし爲同業界は何となく賑はしき樣見受けられ仕入に多忙にて何れの店も毎日着荷店頭に山をなす景氣にてこれより毎年移住者多き時季となれば其需用も多からん且つ昨夏以來の韓國名物の暴徒も稍々平定しつゝあれば韓人の顧客は愈々多からん事にて賣藥も賣れ行き好き事疑なし

毎年四五月になれば開店者増加すること多く本年も其計畫者多きとの事聞き受け着々開店準備中のもの數多見受けり

韓國人向き賣藥を製造せるものありこれ專ら日本富山式にて全韓土に配布せられんと計畫中なりこれ實に困難の事業にて最も有望と信ず當地にて製劑をなす人も増加するならん

○開盛生堂藥房の開店　富山式賣藥にて鷄林八道の韓人に配布せんと計畫中の開藥房は昨年末より着手中の處愈々統監府許可の賣藥製造及び卸賣店を兼ねて京城南大門通三丁目に開店四月一日を期し盛大なる開業式を擧げられたり

藥報俳壇

今日も亦大飯喰て暮しけり　博田
南無三寶取り落したり生卵　蘭山
南大門たてこまれし鹿の聲　北溟山
燉鍋のぬからぬ顔で戻りけり　北風
行燈を消せば鼠の年忘れ　博田
三日月に必ず近き星一つ　冷田
時ならぬ午砲の夢こそふかし芋　同
ちぎりぬかたみに遊き柿一つ　蘭山

●日韓英藥名辭典

枸櫞酸	씨추릭외씨드	Citric acid
沒食子酸	셀릭외씨도	Gollic acid
鹽酸	히드로찰러릭외씨드	Hydrochloric acid
稀鹽酸	쉴넛헤드히드로찰러릭외씨드	Diluteda hydrochloric acid
稀青酸	쉴넛헤드푸러시드외씨도	Dilnte dgrussid acid
乳酸	릭티외씨드	Lactic acid
硝酸	맥추릭외씨도	Nitric acid
粗製硝酸	스피릿도어맥니트레	Spirit of nitre
稀硝酸	브쉴래븟느추릭이씨드	Diluted nitric acid
發烟硝酸	쌤밍녓추릭외씨드	Funning nitric acid